

☆ 米 国

ミル消費 2016年の繊維ミル消費は前年比1.4%増の478万トン

米 Fiber Economics Bureau によると、2016年の米国の繊維ミル消費は前年比1.4%増の478万トンとなった。

素材別にミル消費をみると、化学繊維は前年比2.2%増の394万トン、綿花は、同2.4%減の76万トンであった。

ミル消費とは、紡績・織物など紡織段階に投入される繊維量のことであり、一般的には、その国の紡織産業の生産活動を示す指標となっている。

米国の繊維産業では、2000年台前半までは、NAFTA等米州との自由貿易協定/特惠協定による製品輸入が多く、米国への輸入品に自国産素材が用いられていたことがあり、繊維ミル消費は高いレベルを維持してきたが、2000年代以降、繊維協定失効(繊維貿易自由化)や中国、ベトナムのWTO加盟等もあり、アジアからの製品輸入が拡大、2010年頃まで急速にミル消費は減少、米国の紡織産業の生産基盤が揺るいでいた。しかし、2011年以降は、化学繊維を中心に米国の繊維ミル消費は回復傾向となり、紡織産業への投資も復活の兆しをみせるなど、紡織生産が回復傾向で推移している。

米国の繊維素材別ミル消費推移

(1,000トン、%)

	化学繊維	綿	毛	その他	繊維品計
2000	5,189	2,156	25	81	7,451
2010	3,407	805	15	75	4,302
2011	3,383	795	14	97	4,289
2012	3,434	737	15	84	4,270
2013	3,658	767	18	48	4,491
2014	3,688	782	17	62	4,548
2015	3,858	781	15	64	4,718
2016	3,944	762	15	61	4,782
前年比*	2.2	-2.4	-1.5	-4.4	1.4

シェア*	82.5%	15.9%	0.3%	1.3%	100.0%
2000年比*	-24.0	-64.7	-40.5	-24.2	-35.8
2010年比*	15.7	-5.3	-0.9	-18.7	11.1

(注)*の部分は全て2016年実績がベース